

祈りの友 第179号

2021年 5月

「児童伝道者の問題と神の解決」No.2



第2章 問題に対する私たちの対処法

サム・ドハティ

問題が起こった時、通常私たちは積極的になり、行動的になります。そして、それを解決しようと試みます。私たちは第1章であげたような問題を持ちたいとは願いません。そして、解決の道を探そうと、行動的になります。私たちの解決方法は、とても有効的な場合もあり、必ずしもおろそかにすべきではありません。しかしながら、もし、神さまが私たちに、特別に見せ、解らせ、実行させたいと、願っておられる解決方法を与えようとしているのに、私たちの方法が、それにとってかわるなら、間違った結果を招きかねません。

私たちは、自分の問題を他の人に話します。そして、彼らの提案に耳を傾けます。

牧師のメッセージを聞いたり、私たちの助けになりそうな、メッセージを聞いたりします。

その問題について書かれている本をさがし、熱心に読みます。

勝利に導いてくれそうな幾つかの計画をたて、それに従い、二段階、三段階、四段階と行っていきます。

Ⅱコリント12:8のパウロのよう

に、「神さま、問題を取り除いてください。」と当然、私たちは祈ります。

しかし 多くの場合、一つまたはそれ以上、私たちの方法を試した後にもなお、まだ問題は、そこにあるのです。しかも、その問題は相変わらず大きく、私たちは、その問題を解決する力は、全くないとさえ感じるのです。

そして、別の対応の仕方や、私たちが時々試みる「解決方法」がありますが、それらは全く有効ではありません。それどころか有害でさえあるのです。

- 私たちはその問題について心配を重ね、時には、私たち自身が病気になってしまいます。
- なぜ、このようなことが私に起こったのかと、苦々しく思い、反抗的になります。
- 状況を変えようとして、人や環境を上手に小細工しようとしています。
- 問題を人のせいにして、時には、自分自身をも責めたり、あらを捜したりします。
- 神さまが召されたその働き場を、辞める決心をします。そして、今ある問題から逃れようとしています。しかし、通常これは他の問題を招く結果になります。
- 私たちは、もっと魅力的なそして、問題の少なそうな他の働きに着きます。そこに行くまでは、隣の芝生はより青く見えるのです。

ここで私たちは、これまで述べてきた問題よりも、実はもっと大きな問題を抱

えているのだということに、気づく必要
があります。事実、それを解決しない限り、
他の問題を解決することは難しいの
です。もし私たちがその問題の答えを
見つけることができるなら、すべての
問題に対しての答えを見出せると、
私は信じています。

私たちが抱えている問題とは、私たち
自身が非常に自己中心的であり、利己的
であるということです。主イエス・
キリストを救い主として信じた後でさえ
そうなのです。私たちは引き続き、自分
自身を、自分たちの問題を、困難を、
仕事を、将来を、健康を見つめています。
私たちの視点は常に私たち自身の上
にあり、自己中心というフィルターを通
して、すべてのことを見ているのです。
祈るときでさえそうなのです。

考えてみてください。祈るとき、私
たちはいかに頻繁に、「私に」「私の」「私
たちは」「私たちに」そして、「私たちの」
という言葉を使うことでしょうか。私
たち自身や**私たちの**必要に焦点を合
わせていくことはとても簡単なこと
です。私たちが読んでいる沢山の
本でさえ、今日クリスチャンに
読まれているベストセラーのほと
んどが、私たちに焦点を合
わせていて、どのようにして**私
たちの**人生を、奉仕を、また、
家庭環境を成功に導くかとい
うことに焦点を合せているの
です。

不思議なことは、私たち自身や私
たちの問題に焦点を合わせれば、
合わせるほど、問題はより、
大きく見えてきて、解決の糸口
を見つけたことさえ、難しく
なっていくのです。

なぜでしょう？なぜなら、私
たちの思いや注目していること
が、間違った方向に向かっ
ているからなのです。

それは神さまよりも、むしろ私
たち自身に焦点を合せている
からなのです。

先に読み進んでいく前に立ち止
まり、そして、あなた自身に
このことが本当かどうか、尋
ねてみてください。あなたは
あなたの視点から、問題を見
ていませんか？あなたの考
え、あなたの計画、あなた
のお祈りでさえ、自己中心
的ではありませんか？

私は、私の人生において、また、
働きの場において、長い間、
自己中心であったことを、そ
して、これが、私の困難や
問題に出会った時の、ごく
当たり前の反応であったこと
を告白します。

私はまた、私の自己中心が、
問題解決には導かなかった
ことを告白しなければなり
ません。結果として、私は
長年、神さまの解決を求め
てきました。そしてその解
決方法を見つけ出し、それ
を試み、ベストを尽くして
行なっています。そして、
それはうまくいっています！

より深い思考と黙想のために

過去何週間かを振り返り、
あなたが抱えている問題
を思い起こした時、あなた
は、あなたの考え、あなた
の計画、あなたのお祈りに
おいてさえ、どんなに自
己中心であったかに、気づ
くではありませんか？ど
れほど度々あなたは、「私
が」「私に」「私の」「私
たちは」「私たちに」そ
して、「私たちの」という
言葉を使っていること
でしょうか。あなたは、
問題に出会った時に、
より根本的なそして最
も深刻な問題があること
に、気がつくものでは
ありませんか？

日本CEF (日本児童福音伝道協会)

〒311-3434 茨城県小美玉市栗又四ヶ 2421-6
TEL 0299(28)2031 URL: <http://www.cef.or.jp>
FAX 0299(28)2028 Eメール japancef@cef.or.jp
振替 00160-1-59313

(宗) 日本児童福音伝道協会